

平成 12 年国勢調査第 1 次基本集計結果の概要

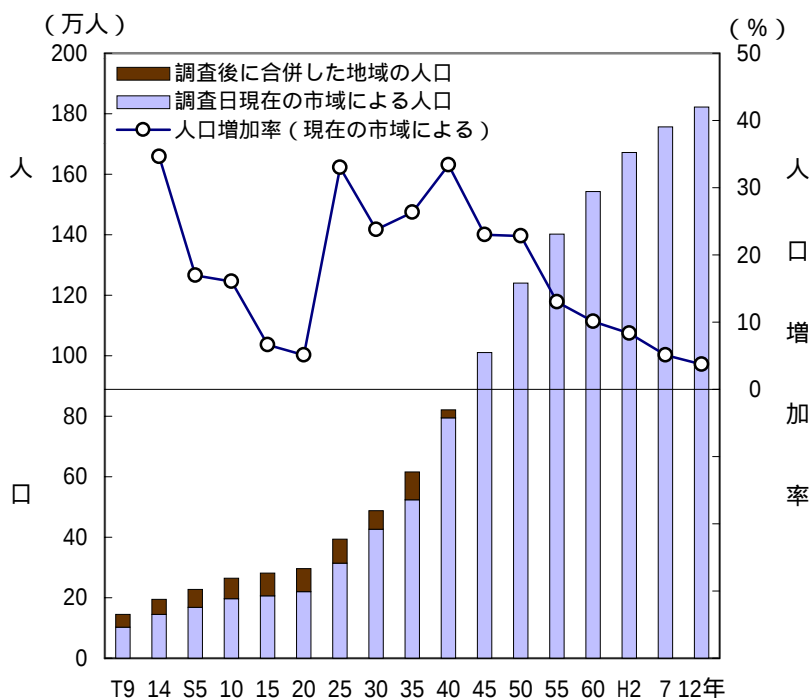
昨年 10 月 1 日現在で実施された平成 12 年国勢調査の第 1 次基本集計結果について、総務省統計局から札幌市分が公表されましたので、その概要を紹介します。なお、今回の結果数値は確定数であり、先に公表済みの要計表による世帯数・人口(概数)とは異なっているため、留意願います。

1 札幌市の人口は 182 万 2 千人，対全道人口シェアは 32.1%

平成 12 年 10 月 1 日現在の札幌市の人口は 1,822,368 人で，前回調査の 7 年に比べ 65,343 人，3.7%増加している。

人口増加率は昭和 35～40 年（高度成長に伴う全国的な都市集中化の時期）の 33.4%，人口増加数は 45～50 年（札幌冬季オリンピックの開催，政令指定都市への移行の時期）の 230,490 人をピークに，毎回低下（縮小）傾向を辿っており，今回も

第 1 図 札幌市の人口の推移（各年10月 1 日現在）



注：昭和20年は人口調査（11月 1 日）の数値である。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第 1 表 札幌市の人口の推移

各年10月 1 日現在					
年 次	調査日現在の市域による人口	現市域による組替人口			5 年 間 の 主 な 変 遷
		人 口	増 加 数	増加率(%)	
大正 9年	102,580	144,630	-	-	市制施行（11.8.1）
14年	145,065	194,726	50,096	34.6	
昭和 5年	168,576	227,755	33,029	17.0	
10年	196,541	264,304	36,549	16.0	円山町合併（16.4.1） 白石村合併（25.7.1） 琴似町，札幌村，篠路村合併（30.3.1）
15年	206,103	281,758	17,454	6.6	
20年 1)	220,139	296,053	14,295	5.1	
25年	313,850	393,756	97,703	33.0	
30年	426,620	487,391	93,635	23.8	豊平町合併（36.5.1） 手稲町合併（42.3.1） 政令指定都市移行・区制施行（47.4.1）
35年	523,839	615,628	128,237	26.3	
40年	794,908	821,217	205,589	33.4	
45年	1,010,123	1,010,123	188,906	23.0	分区実施（元.11.6）
50年	1,240,613	1,240,613	230,490	22.8	
55年	1,401,757	1,401,757	161,144	13.0	
60年	1,542,979	1,542,979	141,222	10.1	
平成 2年	1,671,742	1,671,742	128,763	8.3	分区実施（9.11.4）
7年	1,757,025	1,757,025	85,283	5.1	
12年	1,822,368	1,822,368	65,343	3.7	

注：1) 人口調査（11月 1 日）の数値である。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

長引く景気低迷による人口移動の停滞化などの影響もあり、増加数、増加率ともに前回は下回った。

また、北海道の人口に占める札幌市の人口シェアは 32.1% となっており、前回（30.9%）に比べ 1.2 ポイント上昇した。

2 人口の減少が続いていた中央区がはじめて人口増加に転じた

人口を区別にみると、最も多いのが北区の 260,114 人となっており、全市人口の 14.3% を占めている。

以下、東区、豊平区、西区、白石区、中央区、南区、手稲区、厚別区、清田区の順となっている。

平成 7 年から 12 年にかけての増加状況をみると、人口増加数では清田区が 9,581 人で最も多く、他の 9 区でも人口増加を示している。特に、中央区は区制施行以来、国勢調査では毎回、人口減少を示していたが、今回はじめて人口増加に転じた。

第 2 表 人口の対全道シェアの推移

年 次	各年10月1日現在		
	人 口		対 全 道 シ ェ ア (%)
	札 幌 市 1) A	北 海 道 B	
大正 9 年	144,630	2,359,183	6.1
14 年	194,726	2,498,679	7.8
昭和 5 年	227,755	2,812,335	8.1
10 年	264,304	3,068,282	8.6
15 年	281,758	3,272,718	8.6
20 年 2)	296,053	3,518,389	8.4
25 年	393,756	4,295,567	9.2
30 年	487,391	4,773,087	10.2
35 年	615,628	5,039,206	12.2
40 年	821,217	5,171,800	15.9
45 年	1,010,123	5,184,287	19.5
50 年	1,240,613	5,338,206	23.2
55 年	1,401,757	5,575,989	25.1
60 年	1,542,979	5,679,439	27.2
平成 2 年	1,671,742	5,643,647	29.6
7 年	1,757,025	5,692,321	30.9
12 年	1,822,368	5,683,062	32.1

注：1) 現在の市域による組替人口である。 2) 人口調査（11月1日）の数値である。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第 3 表 区 別 人 口 の 推 移

年 次	各年10月1日現在										
	全 市	中 央 区	北 区	東 区	白 石 区 1)	厚 別 区 1)	豊 平 区 2)	清 田 区 2)	南 区	西 区 1)	手 稲 区 1)
人											
昭和50年	1,240,613	195,094	167,915	195,682	148,139	47,505	157,835	26,607	110,020	147,745	44,071
55 年	1,401,757	181,806	195,370	213,310	161,066	66,995	177,095	41,235	128,845	169,224	66,811
60 年	1,542,979	180,845	212,508	224,539	175,292	88,646	189,885	60,071	141,743	184,306	85,144
平成 2 年	1,671,742	179,184	230,918	232,999	188,043	112,623	195,907	81,894	148,393	190,807	110,974
7 年	1,757,025	173,358	251,419	241,319	192,102	122,738	196,126	100,521	155,650	194,308	129,484
12 年	1,822,368	181,383	260,114	248,950	197,223	127,718	204,700	110,102	156,787	199,385	136,006
割 合 (%)											
昭和50年	100.0	15.7	13.5	15.8	11.9	3.8	12.7	2.1	8.9	11.9	3.6
55 年	100.0	13.0	13.9	15.2	11.5	4.8	12.6	2.9	9.2	12.1	4.8
60 年	100.0	11.7	13.8	14.6	11.4	5.7	12.3	3.9	9.2	11.9	5.5
平成 2 年	100.0	10.7	13.8	13.9	11.2	6.7	11.7	4.9	8.9	11.4	6.6
7 年	100.0	9.9	14.3	13.7	10.9	7.0	11.2	5.7	8.9	11.1	7.4
12 年	100.0	10.0	14.3	13.7	10.8	7.0	11.2	6.0	8.6	10.9	7.5
対 前 回 人 口 増 加 数											
昭和50年	230,490	10,294	40,268	34,959	15,445	22,717	25,710	16,319	26,087	39,974	19,305
55 年	161,144	13,288	27,455	17,628	12,927	19,490	19,260	14,628	18,825	21,479	22,740
60 年	141,222	961	17,138	11,229	14,226	21,651	12,790	18,836	12,898	15,082	18,333
平成 2 年	128,763	1,661	18,410	8,460	12,751	23,977	6,022	21,823	6,650	6,501	25,830
7 年	85,283	5,826	20,501	8,320	4,059	10,115	219	18,627	7,257	3,501	18,510
12 年	65,343	8,025	8,695	7,631	5,121	4,980	8,574	9,581	1,137	5,077	6,522
対 前 回 人 口 増 加 率 (%)											
昭和50年	22.8	5.0	31.5	21.8	11.6	91.6	19.5	158.6	31.1	37.1	77.9
55 年	13.0	6.8	16.4	9.0	8.7	41.0	12.2	55.0	17.1	14.5	51.6
60 年	10.1	0.5	8.8	5.3	8.8	32.3	7.2	45.7	10.0	8.9	27.4
平成 2 年	8.3	0.9	8.7	3.8	7.3	27.0	3.2	36.3	4.7	3.5	30.3
7 年	5.1	3.3	8.9	3.6	2.2	9.0	0.1	22.7	4.9	1.8	16.7
12 年	3.7	4.6	3.5	3.2	2.7	4.1	4.4	9.5	0.7	2.6	5.0

注：1) 昭和50年、55年は本市独自集計結果である。 2) 平成 2 年以前は本市独自集計結果である。

<資料> 総務省統計局、企画調整局企画部企画調査課「国勢調査」

また，人口増加率をみても清田区が9.5%と，他の区と比べて圧倒的に高い増加率を示している。

3 性比（女 100 人に対する男の数）は91.1 で，男の比率が依然低下

平成 12 年の人口を男女別にみると，男は 868,883 人，女は 953,485 人で女が84,602 人多くなっている。

昭和 45 年以降における性比（女 100 人に対する男の数）の推移をみると，毎回低下しており，平成 12 年では 91.1 と，7 年（92.3）より 1.2 ポイント低下している。

4 老年人口がはじめて年少人口を上回る

年齢 3 区分別に人口をみると，年少人口（0～14 歳）が 248,405 人，生産年齢人口（15～64 歳）が 1,286,323 人，老年人口（65 歳以上）が 262,751 人とな

第4表 男女別人口の推移

年 次	各年10月1日現在			性 比 (女=100)
	総 数	男	女	
昭和45年	1,010,123	503,157	506,966	99.2
50年	1,240,613	614,533	626,080	98.2
55年	1,401,757	691,057	710,700	97.2
60年	1,542,979	753,216	789,763	95.4
平成 2年	1,671,742	809,185	862,557	93.8
7年	1,757,025	843,170	913,855	92.3
12年	1,822,368	868,883	953,485	91.1

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第5表 年 齢（ 5 歳 階 級 ） 別 人 口 の 推 移

年 齢 (5 歳階級)	各年10月1日現在							
	昭和50年	55 年	60 年	平成 2 年	7 年	12 年	男	女
総 数	1,240,613	1,401,757	1,542,979	1,671,742	1,757,025	1,822,368	868,883	953,485
0 ～ 4 歳	115,000	108,925	99,392	89,826	81,146	76,120	38,661	37,459
5 ～ 9	94,985	116,423	110,149	100,919	89,293	80,969	41,298	39,671
10 ～ 14	81,196	98,125	119,546	112,945	102,837	91,316	47,154	44,162
15 ～ 19	91,685	103,889	117,171	141,045	129,892	116,639	59,222	57,417
20 ～ 24	136,133	119,839	130,484	141,771	160,561	139,035	68,805	70,230
25 ～ 29	151,267	137,696	119,091	127,046	135,033	148,509	70,959	77,550
30 ～ 34	114,883	152,759	138,965	119,923	126,672	132,244	62,718	69,526
35 ～ 39	96,285	115,584	153,032	139,121	119,566	124,990	59,376	65,614
40 ～ 44	87,274	97,404	116,614	154,200	140,043	119,539	56,957	62,582
45 ～ 49	72,035	88,028	98,424	117,007	155,063	138,799	65,798	73,001
50 ～ 54	54,443	73,639	89,567	98,829	116,666	152,357	71,703	80,654
55 ～ 59	43,130	56,895	77,003	92,172	99,642	115,096	53,755	61,341
60 ～ 64	36,294	43,316	57,723	78,312	92,838	99,115	46,302	52,813
65 ～ 69	27,730	34,801	41,893	55,876	76,017	89,679	41,425	48,254
70 ～ 74	19,075	25,236	32,567	39,535	52,500	71,657	32,704	38,953
75 ～ 79	11,057	15,988	22,322	28,856	35,125	48,044	19,232	28,812
80 ～ 84	5,077	7,878	12,135	17,500	23,026	29,248	10,574	18,674
85 ～ 89	1,847	2,747	4,781	7,790	11,668	16,229	5,238	10,991
90 ～ 94	429	688	1,200	2,169	3,809	6,369	1,709	4,660
95 ～ 99	59	91	170	300	700	1,408	307	1,101
100 歳 以 上	-	11	13	27	52	117	14	103
年 齢 不 詳	729	1,795	737	6,573	4,876	24,889	14,972	9,917
(再 掲)								
15 歳 未 満	291,181	323,473	329,087	303,690	273,276	248,405	127,113	121,292
15 ～ 64 歳	883,429	989,049	1,098,074	1,209,426	1,275,976	1,286,323	615,595	670,728
65 歳 以 上	65,274	87,440	115,081	152,053	202,897	262,751	111,203	151,548
65 ～ 74 歳	46,805	60,037	74,460	95,411	128,517	161,336	74,129	87,207
75 歳 以 上	18,469	27,403	40,621	56,642	74,380	101,415	37,074	64,341
年齢別割合(%)								
15 歳 未 満	23.5	23.1	21.3	18.2	15.6	13.6	14.6	12.7
15 ～ 64 歳	71.2	70.6	71.2	72.3	72.6	70.6	70.8	70.3
65 歳 以 上	5.3	6.2	7.5	9.1	11.5	14.4	12.8	15.9
65 ～ 74 歳	3.8	4.3	4.8	5.7	7.3	8.9	8.5	9.1
75 歳 以 上	1.5	2.0	2.6	3.4	4.2	5.6	4.3	6.7
平均年齢(歳)	30.3	31.8	33.6	35.6	37.8	40.1	38.9	41.2

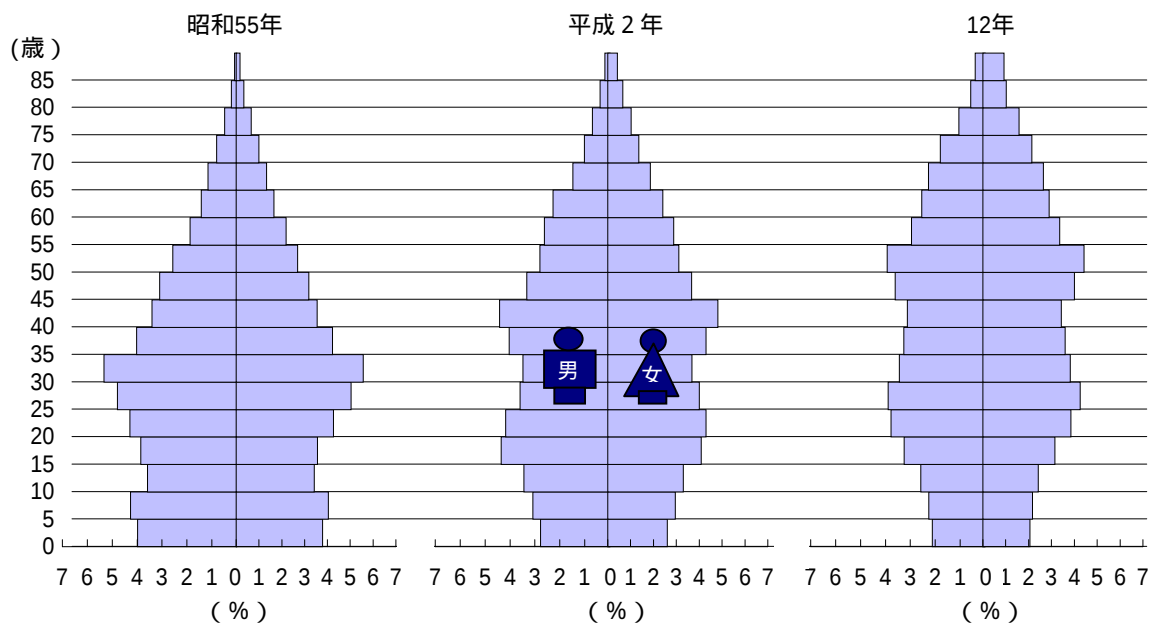
<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第6表 年齢（3区分）別人口の増加状況

年 齢 (3区分)	各年10月1日現在									
	増 加 数					増 加 率 (%)				
	昭和50 ～55年	55～60年	60～ 平成2年	2～7年	7～12年	昭和50 ～55年	55～ 60年	60～ 平成2年	2～ 7年	7～ 12年
総 数	161,144	141,222	128,763	85,283	65,343	13.0	10.1	8.3	5.1	3.7
15歳未満	32,292	5,614	25,397	30,414	24,871	11.1	1.7	7.7	10.0	9.1
15～64歳	105,620	109,025	111,352	66,550	10,347	12.0	11.0	10.1	5.5	0.8
65歳以上	22,166	27,641	36,972	50,844	59,854	34.0	31.6	32.1	33.4	29.5
65～74歳	13,232	14,423	20,951	33,106	32,819	28.3	24.0	28.1	34.7	25.5
75歳以上	8,934	13,218	16,021	17,738	27,035	48.4	48.2	39.4	31.3	36.3
年齢不詳	1,066	1,058	5,836	1,697	20,013	146.2	58.9	791.9	25.8	410.4

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第2図 人口ピラミッドの推移（各年10月1日現在）



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

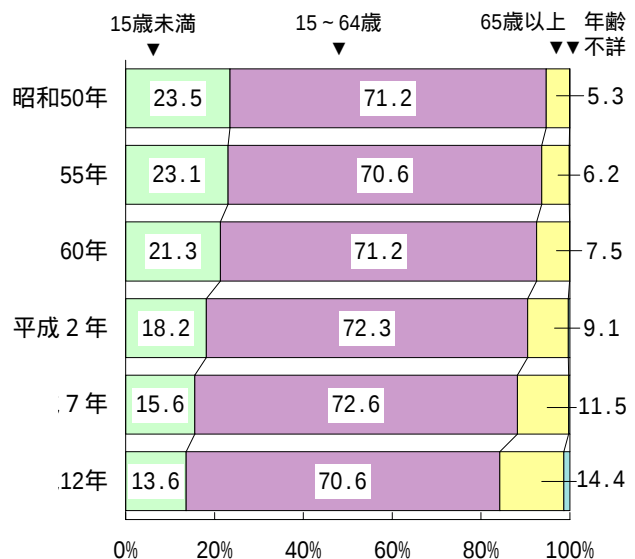
っている。

平成7年に比べると、年少人口は24,871人の減少（9.1%減）となったのに対し、老年人口は59,854人の増加（29.5%増）を示し、この結果、はじめて、老年人口が年少人口を上回った。

老年人口割合（老年人口の人口総数に占める割合）をみると、14.4%となっており、高齢社会のめやすとされる14%を超えた。

また、本市の平均年齢をみると、7年より2.3歳上昇し、40.1歳となっている。

第3図 年齢（3区分）別割合の推移（各年10月1日現在）



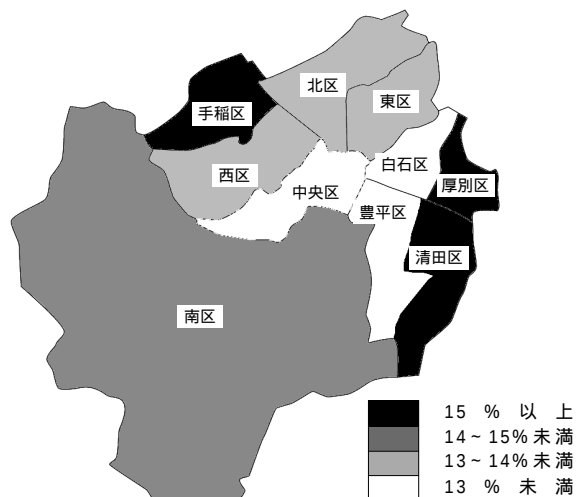
<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第7表 区,年齢(3区分)別人口

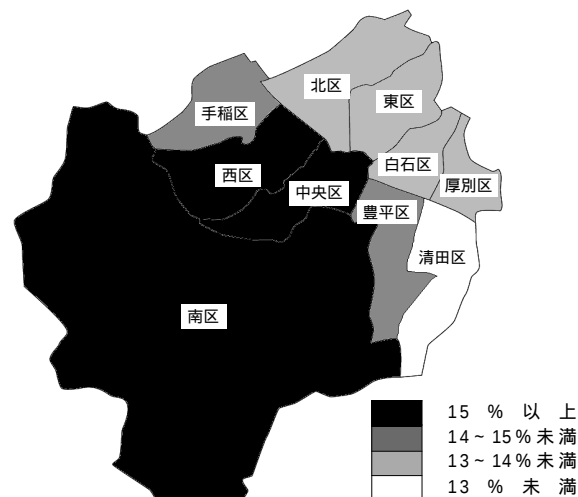
区	平成12年10月1日現在									
	人 口					割 合 (%)				
	総 数 1)	0 ~ 14 歳	15 ~ 64	65 歳 以上	75歳以上	総 数 1)	0 ~ 14	15 ~ 64	65 歳 以上	75 歳 以上
全 市	1,822,368	248,405	1,286,323	262,751	101,415	100.0	13.6	70.6	14.4	5.6
中 央 区	181,383	20,035	123,464	29,103	12,418	100.0	11.0	68.1	16.0	6.8
北 東 区	260,114	34,995	184,432	36,237	13,774	100.0	13.5	70.9	13.9	5.3
白 石 区	248,950	34,106	180,567	34,228	13,175	100.0	13.7	72.5	13.7	5.3
厚 別 区	197,223	25,424	142,582	26,473	9,867	100.0	12.9	72.3	13.4	5.0
豊 平 区	127,718	19,885	90,046	17,649	6,537	100.0	15.6	70.5	13.8	5.1
清 田 区	204,700	24,890	145,700	29,488	10,820	100.0	12.2	71.2	14.4	5.3
南 区	110,102	18,913	76,691	13,803	5,187	100.0	17.2	69.7	12.5	4.7
西 区	156,787	22,130	107,371	25,973	9,950	100.0	14.1	68.5	16.6	6.3
手 稲 区	199,385	27,100	140,230	30,308	11,394	100.0	13.6	70.3	15.2	5.7
手 稲 区	136,006	20,927	95,240	19,489	8,293	100.0	15.4	70.0	14.3	6.1

注：1) 「年齢不詳」を含む。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第4図 区別15歳未満人口の割合
(平成12年10月1日現在)

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第5図 区別65歳以上人口の割合
(平成12年10月1日現在)

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

5 10区中6区で老年人口割合が年少人口割合を上回る

年齢3区分別人口を区別にみると、老年人口割合が最も高いのは南区の16.6%で、以下、中央区(16.0%)、西区(15.2%)などと続いている。

これに対し、年少人口割合(年少人口が人口総数に占める割合)は清田区の17.2%が最も高く、以下、厚別区(15.6%)、手稲区(15.4%)などと続いている。

また、各区の年少人口割合と老年人口割合を比較してみると、厚別区、清田区及び手稲区では年少人口割合が老年人口割合を上回っており、東区では

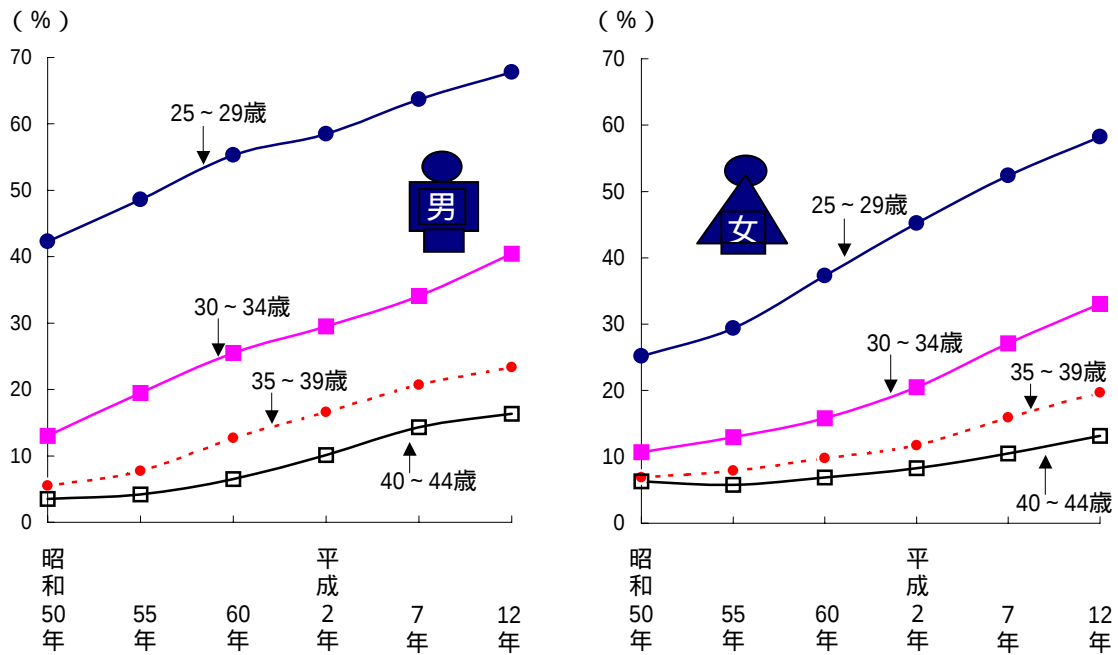
第8表 配偶関係,男女別15歳以上人口

各年10月 1 日現在				
配偶関係	15 歳 以 上 人 口		割合(%) 12 年	増 加 率 (%)
	平成 7 年	12 年		
男				
総 数 1)	699,950	726,798	100.0	3.8
未 婚	236,258	239,223	32.9	1.3
有 配 偶	424,750	439,200	60.4	3.4
死 別	14,192	15,305	2.1	7.8
離 別	18,588	23,097	3.2	24.3
女				
総 数 1)	778,923	822,276	100.0	5.6
未 婚	225,294	232,153	28.2	3.0
有 配 偶	431,640	446,903	54.3	3.5
死 別	78,421	84,426	10.3	7.7
離 別	39,023	47,488	5.8	21.7

注：1) 配偶関係「不詳」を含む。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第6図 年齢（5歳階級），男女別未婚率の推移（各年10月1日現在）



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

年少人口割合と老年人口割合が同じになっているものの、他の6区では老年人口割合が年少人口割合を上回っている。

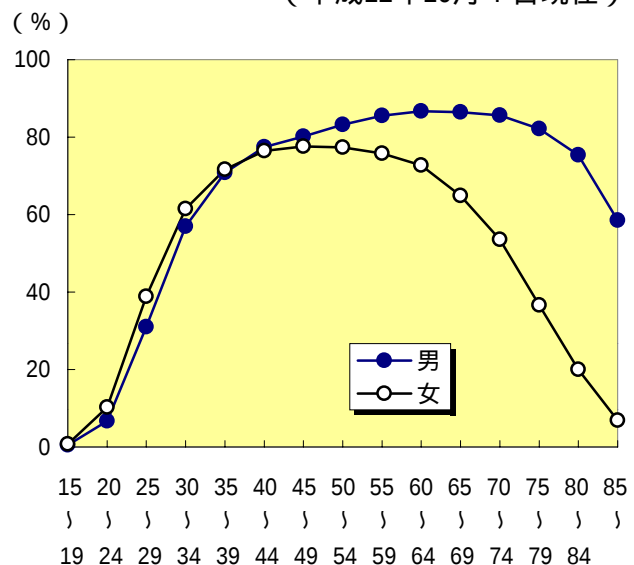
6 男女とも25～34歳の年齢階級で未婚率が大きく上昇

平成12年における15歳以上人口の配偶関係を男女別にみると、男では15歳以上人口726,798人のうち、未婚が239,223人（未婚率32.9%）、有配偶が439,200人（有配偶率60.4%）、死別が15,305人（死別率2.1%）、離別が23,097人（離別率3.2%）となっている。女では15歳以上人口822,276人のうち、未婚が232,153人（未婚率28.2%）、有配偶が446,903人（有配偶率54.3%）、死別が84,426人（死別率10.3%）、離別が47,488人（離別率5.8%）となっている。

未婚率の推移をみると、男女とも若い年齢層の未婚率が大幅な上昇を示している。25～29歳の未婚率は、2年には男58.5%、女45.2%だったのが、7年には男63.7%、女52.4%、12年には男67.8%、女58.2%へと大きく上昇しており、この10年間で男が9.3ポイント、女が13.0ポイントの上昇となっている。

また、30～34歳の未婚率は、2年には男29.5%、女20.5%だったのが、7年には男34.1%、女27.1%、12年には男40.5%、女33.1%へとそれぞれ大きく上昇しており、この10年間で男が

第7図 年齢（5歳階級），男女別有配偶率（平成12年10月1日現在）



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

11.0 ポイント，女が 12.6 ポイントの上昇となっている。

次に，年齢別の有配偶率をみると，15～39 歳までは女が高く，40 歳以上では男が高くなっている。これは，一般的に女の方が早婚で，平均寿命が長いことによると考えられる。

また，離別率を 7 年と比較してみると，ほぼ全ての年齢階級でその割合が上昇しており，なかでも 50 歳代後半から 60 歳代の男及び 50 歳代から 60 歳代の女でその上昇が顕著である。

第 9 表 年齢（5 歳階級），男女別 15 歳以上人口の配偶関係別割合

配偶関係「不詳」があるため，各項目の合計は 100% とならない。

(単位 %)		各年10月1日現在											
年 齢		未 婚 率			有 配 偶 率			死 別 率			離 別 率		
(5 歳階級)		平成 2 年	7 年	12 年	2 年	7 年	12 年	2 年	7 年	12 年	2 年	7 年	12 年
男													
総 数		32.9	33.8	32.9	62.2	60.7	60.4	1.9	2.0	2.1	2.4	2.7	3.2
15 ～ 19 歳		98.6	99.3	99.5	0.5	0.3	0.5	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0
20 ～ 24		90.7	92.3	93.1	7.8	6.8	6.7	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2
25 ～ 29		58.5	63.7	67.8	39.5	34.5	31.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.8	1.1
30 ～ 34		29.5	34.1	40.5	68.1	63.0	56.9	0.1	0.1	0.1	1.7	1.9	2.5
35 ～ 39		16.6	20.7	23.3	80.1	75.7	70.9	0.2	0.1	0.2	2.7	2.7	3.4
40 ～ 44		10.1	14.3	16.4	85.4	80.7	77.5	0.4	0.4	0.3	3.7	3.7	4.0
45 ～ 49		5.8	9.5	12.4	88.6	84.2	80.2	0.8	0.6	0.7	4.5	4.6	4.9
50 ～ 54		3.9	5.7	8.2	89.8	86.4	83.2	1.3	1.4	1.1	4.6	5.3	5.6
55 ～ 59		2.7	3.9	4.9	90.4	87.6	85.6	2.1	2.2	1.9	4.4	5.0	5.8
60 ～ 64		2.0	2.5	3.1	90.8	88.1	86.7	3.7	3.6	3.2	3.2	4.4	5.3
65 ～ 69		1.2	1.6	2.0	90.1	88.4	86.4	5.8	5.4	5.1	2.7	3.2	4.4
70 ～ 74		1.0	1.2	1.3	86.4	87.5	85.7	10.1	8.7	7.7	2.2	2.4	2.9
75 ～ 79		0.7	1.0	0.9	80.2	82.6	82.2	16.8	14.2	11.7	1.8	1.9	2.2
80 ～ 84		0.6	1.1	0.8	69.8	73.5	75.3	27.1	23.5	18.2	1.5	1.6	1.8
85 歳 以 上		0.7	2.1	0.7	51.1	54.6	58.5	44.9	41.6	33.9	1.3	1.1	1.4
女													
総 数		27.8	28.9	28.2	57.5	55.4	54.3	9.5	10.1	10.3	4.6	5.0	5.8
15 ～ 19 歳		98.0	99.0	99.2	1.2	0.7	0.8	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
20 ～ 24		84.0	86.9	89.0	14.6	12.0	10.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.7
25 ～ 29		45.2	52.4	58.2	51.9	44.9	38.8	0.1	0.1	0.1	2.1	2.1	2.7
30 ～ 34		20.5	27.1	33.1	75.0	67.9	61.5	0.3	0.3	0.2	4.0	4.2	5.0
35 ～ 39		11.7	15.9	19.7	81.2	77.3	71.6	0.7	0.6	0.5	6.2	5.8	6.8
40 ～ 44		8.3	10.5	13.2	82.3	80.0	76.5	1.5	1.3	1.1	7.6	7.8	8.1
45 ～ 49		6.5	8.0	9.4	81.4	79.9	77.6	3.3	2.6	2.2	8.5	8.9	9.4
50 ～ 54		5.0	6.3	7.2	80.9	78.6	77.3	6.3	5.3	4.1	7.4	9.1	10.0
55 ～ 59		4.8	4.9	5.7	77.0	76.9	75.7	11.3	9.6	7.8	6.5	7.8	9.2
60 ～ 64		4.5	4.5	4.4	70.2	71.7	72.7	18.8	16.5	13.5	6.0	6.3	7.7
65 ～ 69		3.3	4.2	4.2	58.2	62.7	64.9	32.7	26.5	22.4	5.1	5.6	6.4
70 ～ 74		2.0	3.3	3.8	43.4	48.0	53.6	49.8	43.5	34.7	3.9	4.8	5.3
75 ～ 79		1.5	2.3	3.0	28.6	31.1	36.6	65.7	62.6	52.4	2.6	3.5	4.2
80 ～ 84		1.4	2.5	2.1	14.6	17.1	20.0	79.3	77.4	69.5	2.1	2.4	3.0
85 歳 以 上		0.9	3.7	1.3	5.1	5.4	6.9	88.8	88.4	82.8	1.6	1.6	1.9

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第10表 世帯の種類別世帯数及び世帯人員の推移

年 次	総 数			一 般 世 帯			施 設 等 の 世 帯			世帯の種類不詳	
	世帯数	世帯人員	1世帯 当たり 人 員	世帯数	世帯人員	1世帯 当たり 人 員	世帯数	世帯人員	1世帯 当たり 人 員	世帯数	世帯人員
昭和55年	508,823	1,401,757	2.75	505,673	1,373,934	2.72	1,747	26,028	14.90	1,403	1,795
60年	566,287	1,542,979	2.72	564,387	1,510,839	2.68	1,296	31,403	24.23	604	737
平成 2年	646,647	1,671,742	2.59	640,005	1,630,093	2.55	877	35,079	40.00	5,765	6,570
7年	718,473	1,757,025	2.45	713,461	1,719,918	2.41	727	32,446	44.63	4,285	4,661
12年	781,948	1,822,368	2.33	759,338	1,764,449	2.32	725	33,030	45.56	21,885	24,889

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

7 1世帯当たり人員は2.33人となり、世帯規模の縮小化が一層進行

世帯総数は781,948世帯で平成7年に比べ63,475世帯、8.8%増加している。世帯人員総数(人口)は1,822,368人で、1世帯当たり人員(世帯規模)は2.33人となり、世帯規模の縮小化は一層進行している。

世帯総数のうち、住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者、会社などの独身寮の単身者等からなる「一般世帯」は759,338世帯、世帯人員は1,764,449人で、世帯規模は2.32人である。また、病院の入院者、社会施設の入所者などの集まりである「施設等の世帯」は725世帯、世帯人員は33,030人である。

一般世帯の世帯規模を区別にみると、中央区が1.95人で最も小さく、清田区の2.85人が最も大きくなっており、すべての区で3人を割っている。

一般世帯を世帯人員別にみると、1人世帯が258,702世帯で全体の34.1%を占めて最も多く、以下、2人世帯が205,628世帯(27.1%)、3人世帯が138,715世帯(18.3%)、4人世帯が114,387世帯(15.1%)などの順となっており、世帯人員が2人以下の世帯の割合が全体の6割以上を占めている。また、増加状況をみても世帯人員3人以下の世帯は増加しているが、4人以上の世帯は減少を示している。

第11表 区別一般世帯数及び世帯人員

区	平成12年10月1日現在		
	世帯数	世帯人員	1世帯 当たり 人 員
全 市	759,338	1,764,449	2.32
中 央 区	85,547	167,076	1.95
北 区	107,664	252,269	2.34
東 区	107,995	244,560	2.26
白 石 区	88,784	191,510	2.16
厚 別 区	48,640	125,793	2.59
豊 平 区	93,326	198,163	2.12
清 田 区	37,605	107,207	2.85
南 区	60,067	150,591	2.51
西 区	81,320	194,845	2.40
手 稲 区	48,390	132,435	2.74

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第12表 世帯人員別一般世帯数の推移

世帯人員	各年10月1日現在								増 加 率 (%)		
	一 般 世 帯 数				世 帯 人 員 別 割 合 (%)						
	昭和60年	平成2年	7年	12年	60年	2年	7年	12年	60～2年	2～7年	7～12年
総 数	564,387	640,005	713,461	759,338	100.0	100.0	100.0	100.0	13.4	11.5	6.4
1 人	160,253	197,179	238,167	258,702	28.4	30.8	33.4	34.1	23.0	20.8	8.6
2 人	118,610	146,634	177,930	205,628	21.0	22.9	24.9	27.1	23.6	21.3	15.6
3 人	104,540	115,871	127,553	138,715	18.5	18.1	17.9	18.3	10.8	10.1	8.8
4 人	123,619	126,633	120,473	114,387	21.9	19.8	16.9	15.1	2.4	4.9	5.1
5 人	43,589	40,547	37,909	32,982	7.7	6.3	5.3	4.3	7.0	6.5	13.0
6 人	10,322	10,083	8,845	7,064	1.8	1.6	1.2	0.9	2.3	12.3	20.1
7人以上	3,454	3,058	2,584	1,860	0.6	0.5	0.4	0.2	11.5	15.5	28.0

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第13表 世帯の家族類型別一般世帯数の推移

世帯の家族類型	一般世帯数			割合(%)			増加率(%)	
	平成2年	7年	12年	2年	7年	12年	2～7年	7～12年
総数	640,005	713,461	759,338	100.0	100.0	100.0	11.5	6.4
親族世帯	442,150	472,348	496,645	69.1	66.2	65.4	6.8	5.1
核家族世帯	390,594	421,828	449,432	61.0	59.1	59.2	8.0	6.5
夫婦のみの世帯	110,298	133,145	153,649	17.2	18.7	20.2	20.7	15.4
夫婦と子供から成る世帯	233,559	233,888	231,651	36.5	32.8	30.5	0.1	1.0
男親と子供から成る世帯	5,850	6,649	7,513	0.9	0.9	1.0	13.7	13.0
女親と子供から成る世帯	40,887	48,146	56,619	6.4	6.7	7.5	17.8	17.6
その他の親族世帯	51,556	50,520	47,213	8.1	7.1	6.2	2.0	6.5
非親族世帯	676	2,946	3,991	0.1	0.4	0.5	335.8	35.5
単独世帯	197,179	238,167	258,702	30.8	33.4	34.1	20.8	8.6
(再掲)母子世帯	12,498	12,380	14,011	2.0	1.7	1.8	0.9	13.2
(再掲)父子世帯	1,730	1,529	1,452	0.3	0.2	0.2	11.6	5.0

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

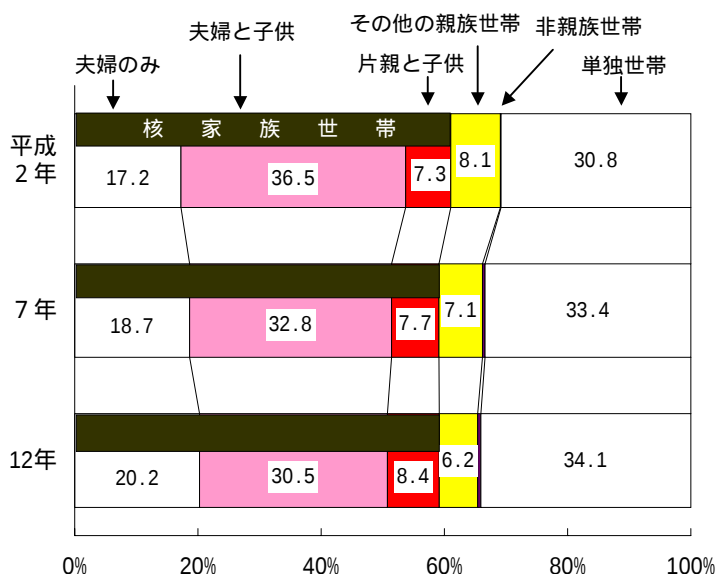
8 夫婦のみの世帯の割合は上昇したが、夫婦と子供から成る世帯の割合は低下

一般世帯を家族類型別にみると、核家族世帯は449,432世帯で、平成7年より27,604世帯増加(6.5%増)しており、一般世帯に占める割合も59.1%から59.2%へと若干ではあるが上昇した。この内訳をみると、夫婦のみの世帯(15.4%増)は18.7%から20.2%に割合が高まっているものの、夫婦と子供から成る世帯(1.0%減)は32.8%から30.5%に割合が低下している。

また、単独世帯は258,702

世帯で、7年に比べ8.6%の増加を示し、割合も34.1%と、7年(33.4%)より0.7ポイント高まった。

第8図 一般世帯の家族類型別割合の推移
(各年10月1日現在)



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

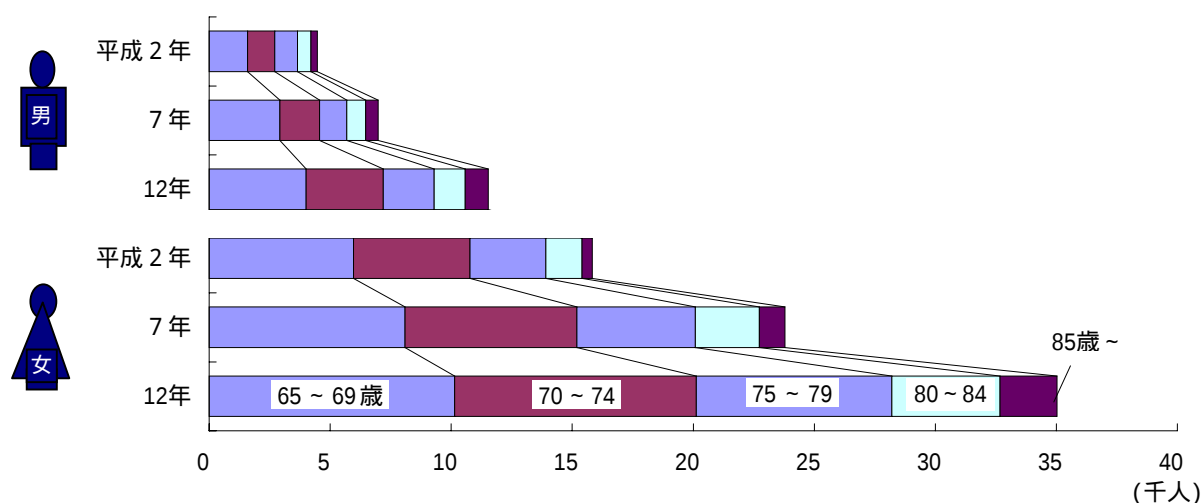
9 高齢単身者数・高齢夫婦世帯数はともに大幅な増加

65歳以上の高齢単身者数は、男11,535人、女35,029人で、女が男の約3倍となっており、平成7年に比べ、男が4,552人(65.2%増)、女が11,240人(47.2%増)増加しており、単独世帯の増加率(8.6%)を大きく上回った。

高齢単身者数を年齢(5歳階級)別に7年と比べると、高齢になるほど増加率が高くなる傾向にあり、85歳以上では109.8%と、2倍以上に増加している。

また、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組からなる高齢夫婦世帯は57,562世帯で、7年に比べ14,484世帯(33.6%増)増加している。

第9図 年齢（5歳階級），男女別高齢単身者数の推移（各年10月1日現在）



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第14表 年齢（5歳階級），男女別高齢単身者数の推移

年齢 (5歳 階級)	各年10月1日現在														
	平成2年			7年			12年			増 加 率 (%)					
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	2 ~ 7 年			7 ~ 12 年		
総 数	20,293	4,465	15,828	30,772	6,983	23,789	46,564	11,535	35,029	51.6	56.4	50.3	51.3	65.2	47.2
65~69歳	7,540	1,581	5,959	11,013	2,921	8,092	14,141	4,002	10,139	46.1	84.8	35.8	28.4	37.0	25.3
70~74	5,953	1,133	4,820	8,745	1,647	7,098	13,177	3,191	9,986	46.9	45.4	47.3	50.7	93.7	40.7
75~79	4,059	929	3,130	6,018	1,120	4,898	10,182	2,101	8,081	48.3	20.6	56.5	69.2	87.6	65.0
80~84	2,061	562	1,499	3,421	779	2,642	5,759	1,287	4,472	66.0	38.6	76.3	68.3	65.2	69.3
85歳以上	680	260	420	1,575	516	1,059	3,305	954	2,351	131.6	98.5	152.1	109.8	84.9	122.0

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第15表 夫の年齢（5歳階級），妻の年齢（5歳階級）別高齢夫婦世帯数

妻の年齢 (5歳 階級)	各年10月1日現在														
	夫 の 年 齢										増 加 率 (%)				
	平成7年					12年									
	総数	65~69歳	70~74	75~79	80歳以上	総数	65~69歳	70~74	75~79	80歳以上	総数	65~69歳	70~74	75~79	80歳以上
総 数	43,078	18,096	12,574	7,353	5,055	57,562	20,063	19,256	10,784	7,459	33.6	10.9	53.1	46.7	47.6
60~64歳	12,562	10,499	1,770	216	77	13,401	10,859	2,181	286	75	6.7	3.4	23.2	32.4	2.6
65~69	15,883	6,892	7,278	1,493	220	20,242	8,193	10,249	1,584	216	27.4	18.9	40.8	6.1	1.8
70~74	9,329	592	3,286	4,282	1,169	14,425	851	6,247	6,092	1,235	54.6	43.8	90.1	42.3	5.6
75~79	3,859	95	199	1,288	2,277	6,919	137	503	2,646	3,633	79.3	44.2	152.8	105.4	59.6
80歳以上	1,445	18	41	74	1,312	2,575	23	76	176	2,300	78.2	27.8	85.4	137.8	75.3

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

10 持ち家に住む世帯が住宅に住む一般世帯全体の48.2%を占めて最多

住宅に住む一般世帯750,627世帯の住宅の所有の関係をみると、持ち家に住む世帯が361,897世帯で最も多く、住宅に住む一般世帯全体の48.2%を占めている。以下、民営の借家に住む世帯が305,641世帯（40.7%）、公営・公団・公社の借家に住む世帯が38,171世帯（5.1%）、給与住宅に住む世帯が29,080世帯

(3.9%) , 間借りの世帯が 15,838 世帯 (2.1%) の順となっている。

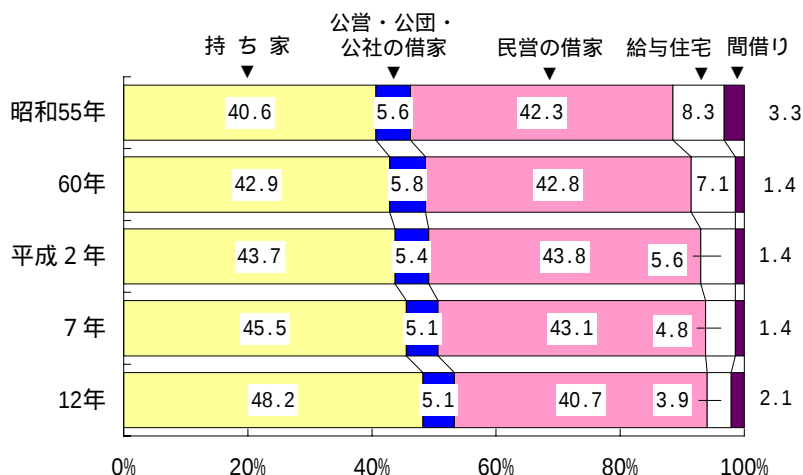
持ち家と民営の借家の世帯について推移をみると、昭和 60 年と平成 2 年では世帯数はほぼ拮抗していたが、7 年では、持ち家の世帯が民営の借家に住む世帯を上回り、12 年ではその差がさらに広がっている。

また、公営・公団・公社の借家の世帯についてみると、昭和 55 年以降増加を続けている。これに対し、給与住宅の世帯は一貫して減少を続けている。

住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり人員は 2.34 人であり、これを住宅の所有の関係別にみると、持ち家が 2.79 人で最も多くなっており、これに対して、民営の借家が 1.78 人で最も少なくなっている。

また、1 世帯当たり延べ面積についても、持ち家が 108.8 m²で最も広くなっており、これに対して、民営の借家が 43.5 m²で 1 世帯当たり延べ面積が最も狭くなっている。

第10図 住宅に住む一般世帯の住宅の所有の関係別割合の推移 (各年10月1日現在)



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第16表 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数の推移

各年10月1日現在						
年次	総数	持ち家	公営・公団・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り
住宅に住む一般世帯数						
昭和55年	487,828	198,189	27,130	206,283	40,361	15,865
60年	549,105	235,388	31,582	235,032	39,178	7,925
平成2年	626,279	273,890	34,053	274,345	34,993	8,998
7年	702,774	319,939	35,804	303,078	33,839	10,114
12年	750,627	361,897	38,171	305,641	29,080	15,838
割合 (%)						
昭和55年	100.0	40.6	5.6	42.3	8.3	3.3
60年	100.0	42.9	5.8	42.8	7.1	1.4
平成2年	100.0	43.7	5.4	43.8	5.6	1.4
7年	100.0	45.5	5.1	43.1	4.8	1.4
12年	100.0	48.2	5.1	40.7	3.9	2.1
増加率 (%)						
55～60年	12.6	18.8	16.4	13.9	2.9	50.0
60～2年	14.1	16.4	7.8	16.7	10.7	13.5
2～7年	12.2	16.8	5.1	10.5	3.3	12.4
7～12年	6.8	13.1	6.6	0.8	14.1	56.6

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第17表 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯人員、1世帯当たり人員及び延べ面積

(面積単位 m²)

各年10月1日現在						
住宅の所有の関係	世帯人員		1世帯当たり人員		1世帯当たり延べ面積	
	平成7年	12年	7年	12年	7年	12年
住宅に住む一般世帯	1,708,349	1,753,696	2.43	2.34	70.2	76.4
持ち家	946,063	1,009,155	2.96	2.79	104.4	108.8
公営の借家	73,359	72,521	2.70	2.46	57.3	57.8
公団・公社の借家	20,368	18,883	2.35	2.18	47.7	48.9
民営の借家	550,674	542,576	1.82	1.78	38.2	43.5
給与住宅	95,217	77,211	2.81	2.66	58.9	62.7
間借り	22,668	33,350	2.24	2.11	41.5	46.7

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

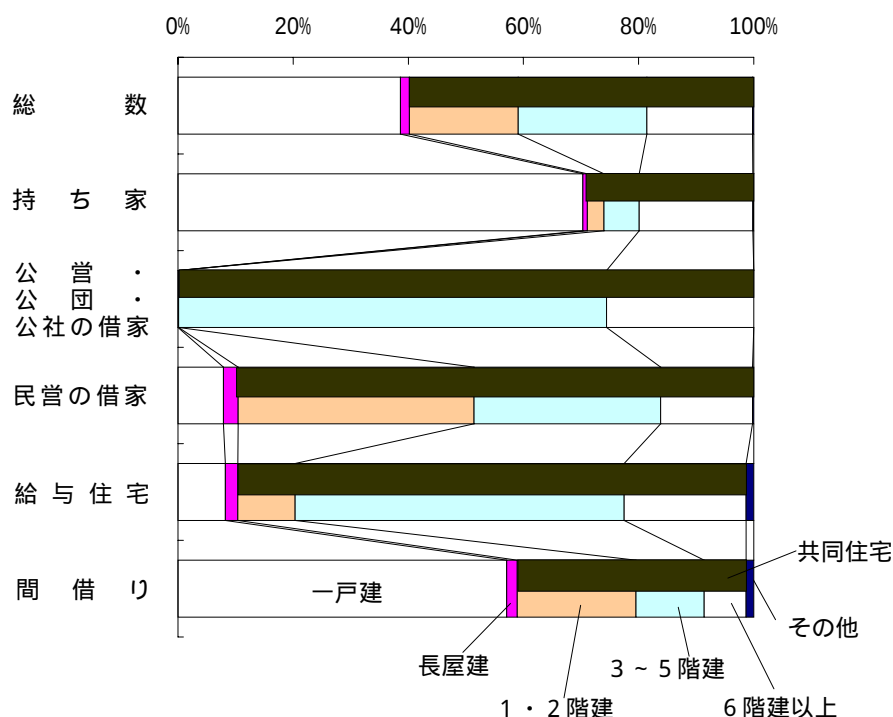
11 共同住宅に住む世帯が、住宅に住む一般世帯全体の 59.6%を占めて最多

住宅に住む一般世帯を住宅の建て方別にみると、共同住宅に住む世帯が 447,034 世帯で最も多く、住宅に住む一般世帯全体の 59.6%を占めている。以下、一戸建に住む世帯が 290,165 世帯（38.7%）、長屋建に住む世帯が 11,580 世帯（1.5%）と続いている。

さらに、共同住宅の階数別では、1・2 階建が 141,745 世帯（18.9%）、3～5 階建が 167,902 世帯（22.4%）、6 階建以上が 137,387 世帯（18.3%）となっており、共同住宅に住む世帯の約 7 割が 5 階建以下の建物に住んでいる。

住宅の所有の関係別に建て方をみると、持ち家に住む世帯の約 7 割が一戸建に住んでいる。これに対し、民営の借家の世帯では、一戸建に住んでいる世帯は 1 割にも満たず、約 9 割が共同住宅に住んでいる。公営・公団・公社の借家の世帯では、ほとんどが共同住宅に住んでおり、階数別では 3～5 階建に住んでいる割合が高い。

第11図 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別割合（平成12年10月1日現在）



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第18表 住宅の所有の関係、住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数

平成12年10月1日現在								
住 宅 の 所 有 の 関 係	総 数	一 戸 建	長 屋 建	共 同 住 宅				そ の 他
				総 数	1・2階建	3～5	6階建以上	
住 宅 に 住 む 一 般 世 帯 数								
住 宅 に 住 む 一 般 世 帯	750,627	290,165	11,580	447,034	141,745	167,902	137,387	1,848
持 ち 家	361,897	254,538	2,800	104,007	10,363	22,106	71,538	552
公営・公団・公社の借家	38,171	4	31	38,136	15	28,364	9,757	-
民 営 の 借 家	305,641	24,193	7,826	272,922	125,212	98,936	48,774	700
給 与 住 宅	29,080	2,386	634	25,671	2,894	16,618	6,159	389
間 借 り	15,838	9,044	289	6,298	3,261	1,878	1,159	207
割				合 (%)				
住 宅 に 住 む 一 般 世 帯	100.0	38.7	1.5	59.6	18.9	22.4	18.3	0.2
持 ち 家	100.0	70.3	0.8	28.7	2.9	6.1	19.8	0.2
公営・公団・公社の借家	100.0	0.0	0.1	99.9	0.0	74.3	25.6	-
民 営 の 借 家	100.0	7.9	2.6	89.3	41.0	32.4	16.0	0.2
給 与 住 宅	100.0	8.2	2.2	88.3	10.0	57.1	21.2	1.3
間 借 り	100.0	57.1	1.8	39.8	20.6	11.9	7.3	1.3

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

12 外国人人口は総人口の0.3%

外国人人口は5,691人となっており、平成7年に比べて675人、13.5%増加している。これを男女別にみると、男が2,926人、女が2,765人と、男が女に比べて多く、性比(女100人に対する男の数)は105.8となっている。

外国人人口が総人口に占める割合は、昭和60年の0.21%からゆるやかに上昇を続けており、12年は0.31%となっている。

国籍別にみると、韓国・朝鮮が2,183人(外国人人口の38.4%)と最も多く、以下、中国が1,609人(28.3%)、アメリカが351人(6.2%)などとなっている。

第19表 外国人人口の推移

年次	外国人人口			増加数	増加率 (%)	性比 (女=100)	各年10月1日現在	
	総数	男	女				外国人人口の割合 (%)	(参考) 総人口
昭和50年	2,330	1,341	989	252	12.1	135.6	0.19	1,240,613
55年	2,580	1,435	1,145	250	10.7	125.3	0.18	1,401,757
60年	3,171	1,722	1,449	591	22.9	118.8	0.21	1,542,979
平成2年	3,758	1,990	1,768	587	18.5	112.6	0.22	1,671,742
7年	5,016	2,596	2,420	1,258	33.5	107.3	0.29	1,757,025
12年	5,691	2,926	2,765	675	13.5	105.8	0.31	1,822,368

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

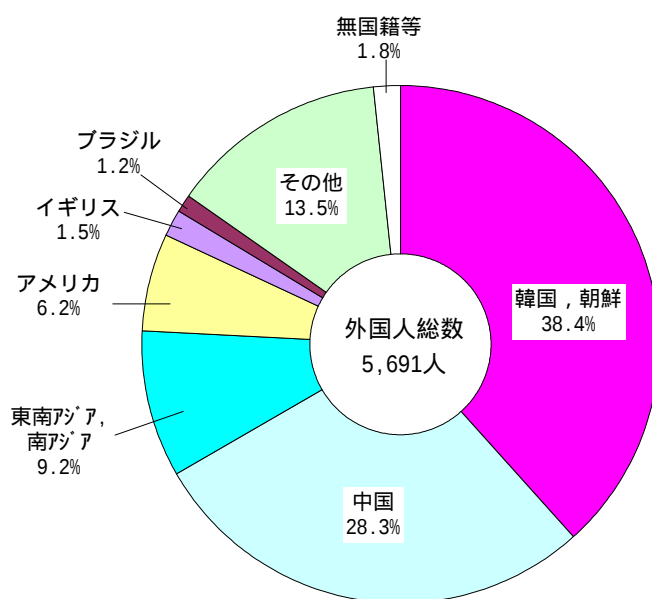
第20表 国籍別外国人人口

平成12年10月1日現在		
国籍	人口	性比 (女=100)
総数 ¹⁾	5,691	105.8
韓国, 朝鮮	2,183	102.5
中国	1,609	100.1
東南アジア, 南アジア	521	69.7
フィリピン	177	19.6
タイ	40	29.0
その他の	304	137.5
イギリス	88	131.6
アメリカ	351	174.2
ブラジル	70	84.2
ペルー	8	100.0
その他の	760	153.3
(再掲)		
0 ~ 14歳	787	114.4
15 ~ 64歳	4,566	103.7
65歳以上	338	116.7
年齢別割合(%)		
0 ~ 14歳	13.8	-
15 ~ 64歳	80.2	-
65歳以上	5.9	-

注：1) 無国籍及び国名「不詳」を含む。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第12図 外国人の国籍別割合
(平成12年10月1日現在)



<資料> 総務省統計局「国勢調査」